

令和六年度 一学期始業式 代表児童の言葉

わたしが五年生としてがんばったことは、二つあります。

一つ目は、算数の割合の学習です。もともと割合がよくわからなかったけれど、家で親に教えてもらったり、学校でたくさん問題を解いたりして、算数の中でも得意な分野にすることができました。

二つ目は、自分の意見をちゃんと言うことです。まだ人前で手を挙げて発言したりすることに抵抗はあるけれど、せめてグループの中では自分の意見を言ってみたら、意見を言わなかったときよりも達成感があったし、グループ内の意見をうまくまとめることができました。

六年生でがんばりたいことも、二つあります。わたしにとって、昨年の六年生はあこがれの存在でした。その六年生を見てきて、気づいたことが、今年の私の六年生でがんばりたいことです。

一つ目は、下級生に優しくすることです。わたしは、初対面の人と話す時にきんちょうしてうまく話せないことがあるけれど、下級生の子の方が、年上の人ばかりで、きんちょうしてしまっているのではないかな、と思い直し、自分から下級生の話しかけてみようと思いました。

二つ目は、金管バンドドリルです。五年生になって練習が始まって、今まで全校朝会などで当たり前前に聞いていたものが、すごいことなんだなと気づかされました。

これからは、今まで以上に努力をして、下級生からあこがれてもらえるような六年生になりたいです。